

株式会社ジェイコム東京 杉並・中野局

2023 年度放送番組審議会 議事録

1. 開催日時

2024 年 3 月 26 日 (火) 10:00~11:15

2. 開催場所

東京都中野区中野 4 丁目 10 番 2 号 中野セントラルパーク サウス
中野セントラルパーク カンファレンス ルーム 2B

3. 出席者

委員長 佐久間ヒロコ様

委員 (ご出席) 柴田豊幸様、神谷亮介様、宮島茂明様、涌井久美子様、松田由美様
(ご欠席) 田中章生様、矢澤岳様

事業者側 杉並・中野局 局長 前田浩慶、杉並・中野局 管理部長 石原綾子、
杉並・中野局 地域プロデューサー 芦澤公一、
映像制作第一部 リージョナルマネージャー 関原真人、
映像制作第一部 中野事務所 拠点長 東照審

4. 委員ご紹介

事業者側より、出席した委員全員の紹介があった。

5. 委員長選出

佐久間ヒロコ委員長が全委員の賛同をもって選出された。

6. 報告事項

事業者側から事業報告及び J:COM チャンネル (11ch) について報告。

7-1. 議題 (審議番組:『ジモトトピックス』について)

各委員からは、審議番組に関して以下のような意見が出された。

- 以前は地域の細かいところまで取材をおこない、地元密着感があった。
複数エリアのニュースを扱うようになり、地域離れを感じる。
個人的な意見ではなく、地域の方からも同様の意見が出ている。
- 取材に来てもらう方法や連絡方法が分からない。
取材受付の窓口を明確にしていきたい。
- 視聴者のターゲット層が不明瞭。
1日に複数回放送しているのであれば、時間帯によってニュース内容や編集方法を変えるのも良いと思う。

- 取材した内容がいつ放送されるのか、どのように視聴すればよいのかわからないという声をよく聞く。
良い番組を作っているのに、多くの方に視聴していただくための工夫が必要だと思う。
- イベント等は事後に放送されるため、集客につながらない。
事前告知機能があると良い。
- 地域資源を様々な角度で捉えて放送しているのに、地域の人にとっても新たな発見に繋がっているのではないかと思う。
他の地域の方々が視聴した際にも参考になると思う。

事業者側からは以下の発言があった。

- ターゲットを絞ることはしておらず、小学生から高齢者の方まで全世代に視聴してもらえる番組という位置付けで制作し、多くの方々に視聴してもらうため再放送の回数を増やしている。
- 週1回更新の番組のため、取り上げる話題は事後となってしまう。
ボリュームとしては7割程が通常取材のニュースで、3割程が放送後に開催されるイベント紹介となるような編成を意識している。

7-2. 議題（審議番組：『こちらJ:COM 安心安全課』について）

各委員からは、審議番組に関して以下のような意見が出された。

- 毎年のように様々な災害が起きる中で、このような番組・取り組みは非常に良い。
- 番組を継続していく中で、視聴者の方の意識変化等を検証し、地域の方の意見を集めたものを番組に反映させられると良いと思う。
- 地域の方々が横の繋がりを作る際の手助けとなるような番組になると良いと思う。
- SNSやYouTubeでも放送しており若者をターゲットとしているように感じるが、映像には高齢の方が多く映っているため、誰をターゲットとしているのかが不明瞭。
- 防災、防犯を目指すという目的の中で、番組中に古いデータを出すと思慮性に欠けるのではないかと感じた。
- 様々な団体の取り組みを紹介することで、今までの活動に違う視点での気づきを与えられる点が良いと思う。
- SNSで流すのであれば、若い方にも視聴してもらえるようクイズ形式や、アニメーションを取り入れるなど工夫が必要ではないか。
- 多くの方に視聴してもらうべき番組のため、視聴してもらうための仕掛けがあると良い。

事業者側からは以下の発言があった。

- 地域での取り組みを、他の地域でも参考にしてもらうことを番組コンセプトとしている。
- SNSでの発信は1つの手段。
より多くのご意見や情報をいただくために、番組作りを通じて地域の方とのコミュニケーションを深めていき、ネットワークを作ることも目的としている。
それにより、より多くの方へ情報を発信していくことが可能となると考えている。

7-3. 議題（審議番組：『第64回東京高円寺阿波おどり 生中継』について）

各委員からは、審議番組に関して以下のような意見が出された。

- 長時間視聴していると飽きてしまう。
- 自分が関係している連の踊りを視聴して満足し、それ以外は視聴しない方が多いのでは

ないかと感じる。

- 放送される連の順番や、連それぞれの見どころや歴史、想いなどを追加することで、より楽しんで視聴することができるのではないかとと思う。
- 通常では見ることのできないテレビならではの映像に期待している。
- ボランティアの方や東京高円寺阿波おどり振興協会スタッフの方のインタビューなどを入れることで、番組に深みが出るのではないかとと思う。
- 当日現地に行けない方には喜んでいただける番組だと思う。
- 高円寺地区以外の方への番組 PR を行い、東京高円寺阿波おどりを区内全体で盛り上げてほしい。

事業者側からは以下の発言があった。

- 多くの連が参加しているため、生中継中に連紹介 VTR を放送することは時間的に難しいが、実況・解説者による紹介は丁寧に行っている。
- 過剰な演出を敬遠する視聴者の方も多い。踊り手の方たちを丁寧に撮影することを大切にしている。
- 連それぞれの見どころや歴史、想いなどの挿入は検討したい。
- 今回の東京高円寺阿波おどりの前には、裏方のスタッフの方にもニュース番組に出演いただき、意気込みなどを紹介した。コロナ前にはニュースで連紹介をおこない、機運醸成に繋げる試みも行っていた。再度このような放送ができないか、検討したい。

8. その他の番組、放送に対するご意見

委員から以下の意見が出された。

- テレビでコミュニティチャンネルを視聴しようとしても通販番組が多く放送されており、視聴したい番組はど・ろーかるアプリでの視聴が多くなってしまふ。番組編成を再考してほしい。

事業者側からは以下の発言があった。

- 昨年いただいたご意見により、今年度は以下を実行することができた。
 - ・ 各学校との関係性を構築し、イベントや取り組みを多く紹介。
 - ・ 中野駅周辺の移り変わりについて、区民の方に紹介するだけでなく歴史の資料（アーカイブ）として残すことを心がけた取材を実施。
 - ・ ふくあじのステッカーを制作し、取材したお店に貼らせていただいた。